

主要事業の実施報告
(2017年6月-11月)
及び今後の主要事業

2017年 11月11日



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

民間ユネスコ運動の 普及・実践

第68回総会

2017年6月17日

主な内容

- 評議員選出、役員選出
- 70周年ビジョンの採択

ビジョン(指針と展望)

Peace for Tomorrow 広げよう平和の心

ミッション(使命と責務)

1 平和な世界の構築

2 持続可能な社会の推進

5つの重点目標と11のアクションプラン、22の方向性を策定

民間ユネスコ運動70周年記念 第73回日本ユネスコ運動全国大会in仙台

延べ1500名のご参加、誠にありがとうございました！！



民間ユネスコ運動70周年記念

第73回(2017年度)
**日本ユネスコ運動
全国大会in仙台**

発祥の地 仙台から世界へ
UNESCO 憲章の理念を未来に!

会期 2017年 7.15 SAT ▶ 7.16 SUN

会場 仙台国際センター 宮城県仙台市青葉区青葉山無音寺
TEL:022-263-2211(内線)

主催／公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、宮城県ユネスコ連絡協議会、公益社団法人仙台ユネスコ協会
後援／外務省、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、国連連合広域センター、宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、仙台市議会「仙台ユネスコ」実行委員会、東北大学、宮城教育大学、河北新報社、朝日新聞仙台支局、岩手新聞東北総局、西口新聞仙台支局、NHK仙台放送局、東北放送、仙台放送、宮城テレビ放送、東日本放送、エフエム仙台、仙台商工会議所、仙台経済同友会、宮城県倫理法人会、仙台青年会議所、JIA宮城中央会(以下略)

〒980-0001 仙台市青葉区中央1-1-1 仙台国際センター 11階 仙台国際センター 仙台国際センター TEL:022-263-2211

第38回WFUCA執行委員会

- 2017年7月13日(木)および7月14日(金)に第38回WFUCA執行委員会を東京(ホテルメトロポリタンおよび国連大学)で実施(写真①)
- 20カ国以上から28人が来日し、WFUCAのバトナガール会長と野口副会長を中心に、WFUCAの定款改定やUNESCOから起案された民間ユネスコ運動の協力枠組みについて協議を行い、ボコバ事務局長への要望書を作成し、ただちに提出した。なお、今回の執行委員会において、野口副会長がWFUCAのアドバイザーに選任された。
- 7月14日(金)には「WFUCAオープンフォーラム」として小宮山宏氏(三菱総研理事長)や松浦晃一郎氏(前UNESCO事務局長)による講演やパネルディスカッションが開催された(写真②)。
- WFUCA役員は、7月15日(土)・16日(日)に仙台で開催された70周年記念の全国大会にも参加し、さまざまな地域ユ協の会員たちと交流を深めた。



2017年度ブロック別研究会

テーマ: 会員の拡充

ブロック	2017年度開催	主管
北海道	10/14(土)～10/15(日) (終了)	釧路ユネスコ協会
東北	10/21(土)～10/22(日) (終了)	いわきユネスコ協会
関東	10/14(土)～10/15(日) (終了)	NPO法人市川市ユネスコ協会
中部東	9/2(土)～9/3(日) (終了)	厚木ユネスコ協会
中部西	10/28(土)～10/29(日) (終了)	三重県ユネスコ連絡協議会
近畿	10/14(土) (終了)	紀北ユネスコ協会
中国	11/18(土)～11/19(日)	防府ユネスコ協会
四国	11/18(土)～11/19(日)	高松ユネスコクラブ
九州	11/25(土)～11/26(日)	沖縄県ユネスコ協会



2017年度寺子屋リーフレット制作プロジェクト 参加校(23校)決定

北海道	1	札幌市立厚別通小学校	三重県	12	暁学園暁小学校
	2	海星学院高等学校		13	津田学園中学校
	3	北海道札幌平岸高等学校		京都府	14
東京都	4	西町インターナショナルスクール	15		平安女学院中学校
	5	東京都市大学等々力中学校	大阪府	16	大阪教育大学附属天王寺中学校
	6	東京都立三田高等学校		17	関西学院千里国際中等部・高等部
神奈川県	7	神奈川県立有馬高等学校		18	羽衣学園高等学校
	8	北鎌倉女子学園中学・高等学校	奈良県	19	奈良教育大学附属中学校
愛知県	9	あま市立甚目寺小学校	兵庫県	20	兵庫県立武庫荘総合高等学校
	10	愛知県立津島北高等学校	広島県	21	廿日市市立宮島中学校
富山県	11	富山市立呉羽小学校	福岡県	22	福岡県立武蔵台高等学校
			宮崎県	23	西都市立三財小学校

リーフレット・コンテストへの応募期限:2018年1月12日(金)まで

今年度プロジェクトへの追加の参加も、受け付けいたします。

ご希望の際は事務局までご相談ください。

民間ユネスコ運動の日 「平和の鐘を鳴らそう！」キャンペーン

7月19日の『民間ユネスコ運動の日』から8月15日の終戦記念日にかけて全国で約100のユネスコ協会・クラブが実施。

鐘を鳴らすほかに、戦争体験を聞く、若者による演奏会など幅広い活動が行われ、平和の大切さを地域社会の中で啓発する活動を行った。



2017年度青少年ユネスコ活動助成

下記分野のうち、分野②について追加募集を実施（締切8月20日）
1件申請があったが、採択はなし。

① 青少年へのユネスコ普及活動事業

② 青年会員が中心となって行う社会的課題の解決等に資する事業

③ ユネスコ協会とユネスコスクールの連携強化に資する事業

・ 審査員（敬称略）

野口 昇（日本ユネスコ協会連盟 副会長）

林 美紀子（日本ユネスコ協会連盟 副会長）

鈴木 佑司（日本ユネスコ協会連盟 理事長）

松波 孝之（日本ユネスコ協会連盟 評議員）

小暮 強志（日本ユネスコ協会連盟 評議員）

青年ユネスコ研修補助制度

- 国内外の外部団体が主催する研修へ参加補助を引き続き、青年会員を対象に実施。
- 上半期は3名が本制度を利用して、研修を受講。
- 利用について詳細は国内事業部にお問合せ下さい。

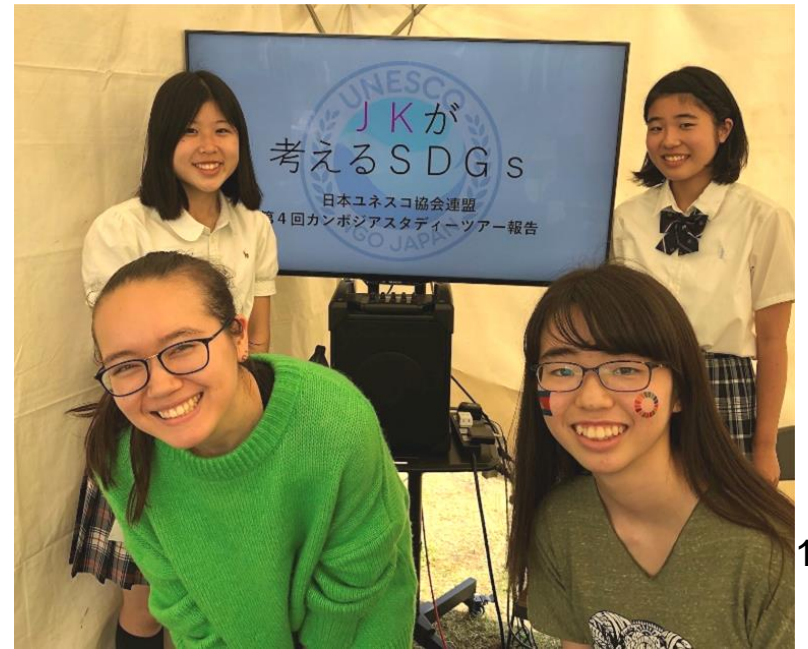
高橋 重雄 (ユネスコアルムニクラブ)	アドベンチャー プログラミング講習会
高橋 大希 (松山ユネスコ協会)	第35回開発教育 全国研究集会
片山 祐貴 (松山ユネスコ協会)	

国際協力フェスタ出展

青年評議員を中心とした青年会員による実行委員会が、東京の国際協力フェスタに出展し、世界寺子屋運動を紹介。

9/30～10/1には、東京・お台場で開催された「グローバルフェスタJAPAN2017」に出展。カンボジアスタディツアー参加高校生も報告を行った。

来年2月には、大阪の「ワン・ワールド・フェスタ」に出展予定。



サイエンススクール

協力:MSD株式会社

甲府ユネスコ協会、石川県ユネスコ協会、秋田ユネスコ協会、米子ユネスコ協会、
徳島ユネスコ協会、奈良ユネスコ協会、岐阜県ユネスコ協会

人々の健康や身体に関する科学の力を伝え、軟膏作りを体験する。9校で実施した。



6/2	南アルプス市立櫛形西小学校
6/13	金沢市立明成小学校
6/19	秋田大学教育文化学部附属小学校
7/3	米子市立就将小学校
7/10	宮崎市立宮崎港小学校
8/29	藍住町立藍住北小学校
9/7	奈良市立椿井小学校
9/20	長崎市立桜町小学校
10/19	岐阜市立長森東小学校

守ろう地球のたからもの育樹事業

世界遺産「白神山地」周辺地域での育樹活動

7月1日～2日に三菱UFJフィナンシャル・グループの社員約50名が参加して実施。

日ユ協連からは野口副会長が参加。



「マザーツリー」の樹勢回復事業

「守ろう地球のたからものプロジェクト」の10周年記念として、三菱UFJフィナンシャル・グループのご支援で、白神山地のシンボルとして知られる「マザーツリー」の樹勢回復事業を支援。



第42回みどりの絵コンクール

「守ろう地球のたからもの」プロジェクトの一環として、三菱UFJ環境財団との共催で実施。審査員として鈴木理事長が出席。

絵を描くことを通じて子どもたちが自然に親しみ、自然の美しさ・大切さを知ることが趣旨とし、第42回となるコンクールの作品を募集。(9月13日締切)

12月9日に表彰式が行われる予定。

第49回ユネスコ子どもキャンプin和歌山 開催

- 日程:2017年7月30日(日)~8月2日(水) *7月29日は事前研修
- 会場:和歌山県立潮岬青少年の家 (和歌山県串本町)
- 参加者:小学4年生~中学3年生 27名 青年スタッフ 41名
- 主催:日本ユネスコ協会連盟 和歌山ユネスコ協会
- テーマ:「わ(WA)!! ~自然と深めるぼくらの絆~」

串本周辺の自然体験や串本町と縁の深いトルコに関するプログラムなどを通じて、自然愛護と助け合いの精神を学んだ。



三菱アジア子ども絵日記フェスタ

第13回(2017-18)の応募が2017年6月1日からスタート(作品募集中です)

作品:1作品5枚

対象:6歳~12歳

主催:日本ユネスコ協会連盟

三菱広報委員会

アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟

後援:UNESCO

テーマ:「伝えたいな、私の生活」

締切:2018年1月12日(金)



今後、国内選考や国際選考会(2018年4月予定)を経て、2018年7月に横浜で国際表彰式が実施される予定。



●前回グランプリ作品の例

2017年度 日・中・韓青年文化フェスティバル

■日 程:2017年8月3日(木)~7日(月)

■テーマ:SDGs目標11:『持続可能な都市とコミュニティ』

■会 場:東京都大田区

■参加者:日本・中国・韓国の高校生 計36名

引率:日本3名、中国、3名、韓国2名 合計44名

日本:新潟県立国際情報高等学校

石川県立金沢泉丘高等学校

岡山県立林野高等学校

■大学生・青年ボランティアスタッフ:7名

過去の日ユ協連スタディツアーやESD国際交流

プログラム参加者3名、柏ユネスコ協会1名、

渋谷ユネスコ協会1名、 慶應義塾大学ユネスコクラブ2名



第4回高校生カンボジアスタディツアー

共催：公益財団法人かめのり財団

■日程：8月5日（土）～12日（土）

※5日（土）は事前研修（成田）

■参加者：ユネスコスクールまたはユ協推薦の
高校1～3年生10名

■団 長：横山恵里子・日本ユネスコ国内委員、
（一社）新潟市ユ協事務局長

■プノンペン、シエムリアップを訪問

日本大使館、UNESCOカンボジア事務所への
表敬訪問のほか、世界寺子屋運動、世界遺産
活動の視察および体験・交流活動を行った。



東日本大震災 子ども支援募金

MUFG-ユネスコ協会復興育英基金

三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)と協働し、震災によって親を亡くした小学校から高校までの児童・生徒を対象とした奨学金を給付。

8月、2017年度第2期分の奨学金を送金した。



ユネスコ協会 就学支援 奨学金

- 8月、2017年度第2四半期分の奨学金を送金した。



引き続き、募金のご協力をお願いいたします。

第4回

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

- 助成校22校に助成金10万円を支援した。
- 9月18日～20日、助成校の先生を招へいし、気仙沼市で「教員研修会」を実施した。

北海道 釧路市立山花小中学校
北海道標津高等学校
岩手県 岩泉町立小本小学校・中学校
宮城県 亘理町立高屋小学校
宮城県 気仙沼高等学校
栃木県 栃木県立栃木農業高等学校
千葉県 千葉県立桜が丘特別支援学校
埼玉県 川口市立柳崎小学校
東京都 墨田区立両国中学校
長野県 諏訪市立城南小学校
愛知県 名古屋市立内山小学校
愛知県 愛知県立海翔高等学校
京都府 京都市立紫野高等学校
兵庫県 神戸市立須佐野中学校
兵庫県 淡路高等学校

岡山県 岡山市立曾根小学校
広島県 広島県立瀬戸田高等学校
島根県 益田市立真砂中学校
徳島県 上板町立高志小学校
愛媛県 新居浜市立惣開小学校
熊本県 熊本県立東稜高等学校
宮崎県 宮崎県立門川高等学校



東日本大震災 教育復興支援レポート2016

- 昨年度の活動をまとめた活動報告書を制作した。
- 会員の皆さま、募金者の皆さまに配布した。
- ユネスコ協会・クラブへは「9月ユネスコ協会便」に同封した。



熊本地震 子ども支援

熊本地震子ども支援 (熊本ユネスコ協会と協働)

① くまもと復興無料塾プロジェクト(熊本復興無料塾プロジェクト運営委員会)

- 熊本市・益城町の被災地仮設・みなし仮設世帯の中学生向け、夏期講習支援が終了。
参加者アンケートでは、「2学期の勉強を頑張ろうと思った」となど、肯定的な回答が寄せられた。
- 小学生を対象としたラストサマースクールでは、宿題をみんなで共に取り組むなどの活動を行った。

② くまがく応援隊スマイリア (熊本学園大学 ライフウェルネス学科学生・教員)

- 被災地の子どもたちを対象に、学生ボランティアが週末を活用し、運動遊び・サッカー教室を行うプロジェクトを継続中。

中学生向け事後ワークショップでの記念撮影



小学生向けワークショップでの記念撮影



世界寺子屋運動
世界遺産・未来遺産
ほか

書きそんじハガキ・キャンペーン2018

●前回のキャンペーン:

140 ユネスコ協会・クラブ、
42 ユネスコスクール、
多くの企業や個人の皆様から
ご協力いただき、108万枚の
ハガキが集まった。

●「キャンペーン2018」

目立つポスターと回収箱を制
作し、チラシを封筒型にするこ
とで回収枚数アップを狙う。

皆様とともに110万枚分のハガ
キ回収を目指します！



新年評議員会でお披露目予定！



世界寺子屋運動 アフガニスタン寺子屋プロジェクト

●識字クラス・職業訓練を開始 (8月～)

現在、23クラスの識字クラスを開催。
国内避難民キャンプでも識字クラスを開始した。
また、識字教員への教授法研修も実施。

●寺子屋の建設

16軒目となるカブール北部のミルバチャコット郡の寺子屋の完成は11月末を予定している。

●国際識字デーのイベント

教育省識字局と協力し、識字局の雑誌に日ユ協連の「世界寺子屋運動」の特集号を掲載するなど啓発活動を展開。



バーミヤンの識字クラス



識字教員への教授法研修

世界寺子屋運動 アンコール寺子屋プロジェクト

●新規寺子屋 建設地決定

シエムリアップ州スレイナム郡スラエン・スピアン コミューンにて寺子屋建設が決定。選挙で寺子屋運営委員を選出。
2018年3月頃の開所式を予定。

●教育プログラム、収入向上活動

識字をはじめとする基礎教育プログラムに約1,000人、職業訓練など収入向上活動に約390家庭が参加している。

●現地職員、寺子屋運営委員の来日

9月7日～14日、カンボジア事務所のバンタイ職員、コックスロック寺子屋運営委員・ソパールさんが来日。「国際識字デーイベント」に出席し、群馬県のユネスコスクール等を訪問した。



世界寺子屋運動

新規 ミャンマー寺子屋プロジェクト

7月から教員をはじめとする関係者の研修を経て、8月から識字(読解力促進)・算数・生活スキル(保健衛生など)の学習プログラムを開始。

■対象地 バゴー地方域4タウンシップ(※)の計29村 (※ミャンマーの行政区)

■場 所 小学校(15)、僧院(7)、民家(4)、教育事務所等(3)
(2017~19年度は建物支援の予定なし)

■時 間 午後4~6時、夜7~9時など

■学習者 480人(女子287人)
小・中学校を中途退学し、働いている子ども。29村に住む中途退学者1,139人(※)中、約42%が参加。
(※ミャンマー識字リソースセンター調べ)



世界寺子屋運動 ネパール寺子屋プロジェクト

●小学校クラス継続中

現在、380人が学ぶ(写真①)。
4カ月の中級識字クラス(識字後クラス)
は12月以降に開始予定。

●1軒の寺子屋が完成

2015年のネパール中部地震(ゴルカ地震)
で建物に被害があったラメチャップ
郡のビムシュワール寺子屋の再建が終
了。識字クラス等、順次開始予定。

●1軒の寺子屋が完成間近

震源に近いゴルカ郡でも寺子屋の再建
が進む。11月の完成を予定。



一杯のスプーン

アフガニスタン／ネパール

●アフガニスタン

SAHA診療所を支援。

栄養補助食品を栄養不良の児童約1,300人に配布した。

診療所では、外来やリハビリで4月から9月までにおよそ56,000人が訪れた。



診察を待つ女性

●ネパール

国際仏教協会を支援。

ルンビニでは12地域で、栄養状態がよくない子どもを対象に、栄養補助食品を配布した。



栄養補助食品を受け取る母親たち

第44回NHK日本賞：日ユ協連賞授与 コロンビア「レッツ・プレイ」に決定

日本ユネスコ協会連盟賞（企画部門優秀賞）：

ESDの普及に貢献する優れたテレビ番組の企画を対象に贈られる。



10月18日（水）NHK放送センターにて、カントアレグレ・コーポレーション（コロンビア）に対し、鈴木理事長から日本ユネスコ協会連盟賞が授与された。12月、Eテレにて「日本賞ドキュメント（仮）」放送予定。

世界遺産活動 カンボジア バイヨン寺院彫像修復プロジェクト

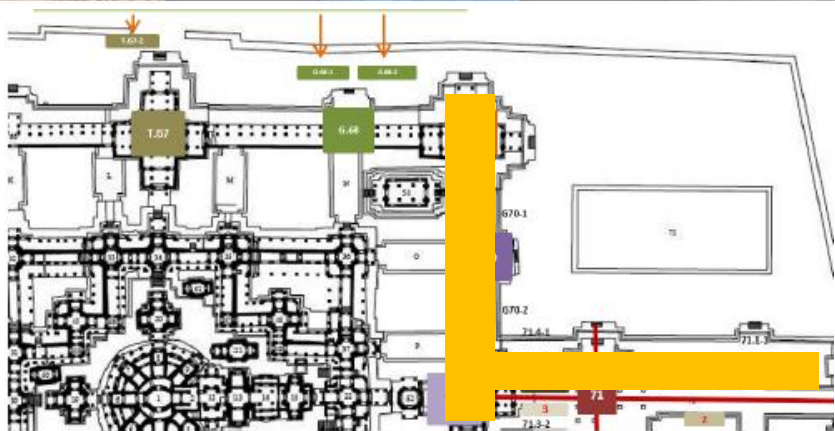
2016年4月～2018年3月を第3フェーズとして実施中



アンコール遺跡の一つ、バイヨン寺院における彫像修復・人材育成事業を引き続き実施。

2017年4月から、場所を移し、参道が整備された。

修復の一番初めの作業である、測量器を使用して、図面制作中。



※終了エリア

世界遺産年報



「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

2017年度は、22年間続いた宝くじ協会の助成がなくなったため、世界遺産募金にて、「世界遺産年報2018－総集編」(仮)として、発行予定。

※寄贈はやむなく中止とし、全て市販となりますのでご了承ください。

プロジェクト未来遺産2017 21件の応募

- ・未来遺産委員(専門家)による書類選考を8月28日に実施。
- ・9月～11月の現地調査を経て、12月開催予定の未来遺産委員会で「プロジェクト未来遺産2017」を決定予定。



チームエナセーブ未来プロジェクト

- 住友ゴム工業株式会社(ダンロップ)との協働事業。今年で5年目を迎え、未来遺産登録地9カ所で、社員による環境保護活動を実施。



開催日	所在地	団体名
9/9(土)	北海道白老町	ウヨロ環境トラスト
9/10(日)	愛知県瀬戸市	海上の森の会
10/14(土)	福岡県福岡市	和白干潟を守る会

※10/21英田上山、10/22忍野での活動を予定していましたが、台風の影響により中止となりました。

ジェットスター・ジャパン Star Heritage プロジェクト

2017年6月末より、
ジェットスター・ジャパンのご協力
により、航空券をオンラインで予
約する際に、未来遺産運動へ
の寄付を募るプログラムが
スタート。



ジェットスターの就航地には、古きよき日本の美しい風景や貴重な伝統文化がたくさん存在しています。国内最大のLCCとして、ジェットスター・ジャパンは、写真や映像だけでは伝わらない、地域独特の文化や自然がこれからも未永く受け継がれていくよう、またどんなときにも、旅が一人心にとどめてくけがえのない思い出となることを願っています。

そして（公社）日本ユネスコ協会連盟が展開する「未来遺産運動」に賛同し、就航先をはじめとする日本各地の貴重な地域文化・自然遺産を次世代の子どもたちに残すことを目標に、「StarHeritage」プログラムを立ち上げ、「未来遺産運動」の活動への寄付を募っております。

100年後の子どもたちが日本を旅したときにも笑顔になれる、素晴らしい文化や自然を、一緒に未来へつないでいきませんか？

「StarHeritage」プログラムの詳細は、未来遺産運動のウェブサイトをご覧ください。

「未来遺産運動」とは？



公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟



未来遺産運動

「未来遺産運動」とは、（公社）日本ユネスコ協会連盟が、100年後の子どもたちへ、長い歴史と伝統のもとで豊かに培われてきた地域の文化・自然遺産を伝える運動です。人びとが紡ぎ続けてきた文化遺産や、自然とともに生きる知恵や工夫の中でつくりあげてきた自然遺産という豊かな贈り物に光を当て、それらを未来に伝えていこうという人びとの意欲を活性化させることによって時代を切り拓いていくことを目的としています。この活動の一環として、全国から公募する地域の文化・自然遺産を未来に伝える市民活動が、未来遺産委員会の厳正な審査を経て「プロジェクト未来遺産」として登録されます。

[詳しくはこちら](#)

「StarHeritage」での寄付方法

ジェットスターの航空券をオンラインで予約する際に、以下の金額のいずれかを選択し、航空券の代金と一緒に支払いただくことで寄付いただけます。

100円/300円/500円/1,000円/2,000円/5,000円

※「StarHeritage」プログラムを通じての寄付は、ジェットスター・ジャパンへ航空券を日本円で予約購入される場合のみ対象となります。寄付金の寄付はしてありません。寄付金のキャンセルや払い戻しはいたしません。また、必ずお申し込みください。また、本プログラムに関する寄付の趣意、実施などは実行しません。



普及広報関連

活動レポート2016の発行

2016年度の活動報告をまとめた「活動レポート2016」を発行。

全国の募金者、協力者の皆さまに送付。

ユネスコ協会・クラブには100部を上限に着払い送付受付中。



日ユ協連ウェブサイト

各事業の最新情報
や記事を順次更新中。

10/10発売の「文藝
春秋」への掲載記事
をきっかけに、遺贈
を呼びかける広報を
新たに展開中。

支援のお願い
「寄付金控除」が受けられます。

日本ユネスコ協会連盟について 文字サイズ変更 標準 拡大 English 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

詳しく知る

未来に託す 確かな思い
未来の平和のために
何を遺せるだろう

世界寺子屋運動
発展途上国の教育支援

世界遺産活動
世界遺産を守る

未来遺産運動
日本の文化・自然を守る

きょういくで、

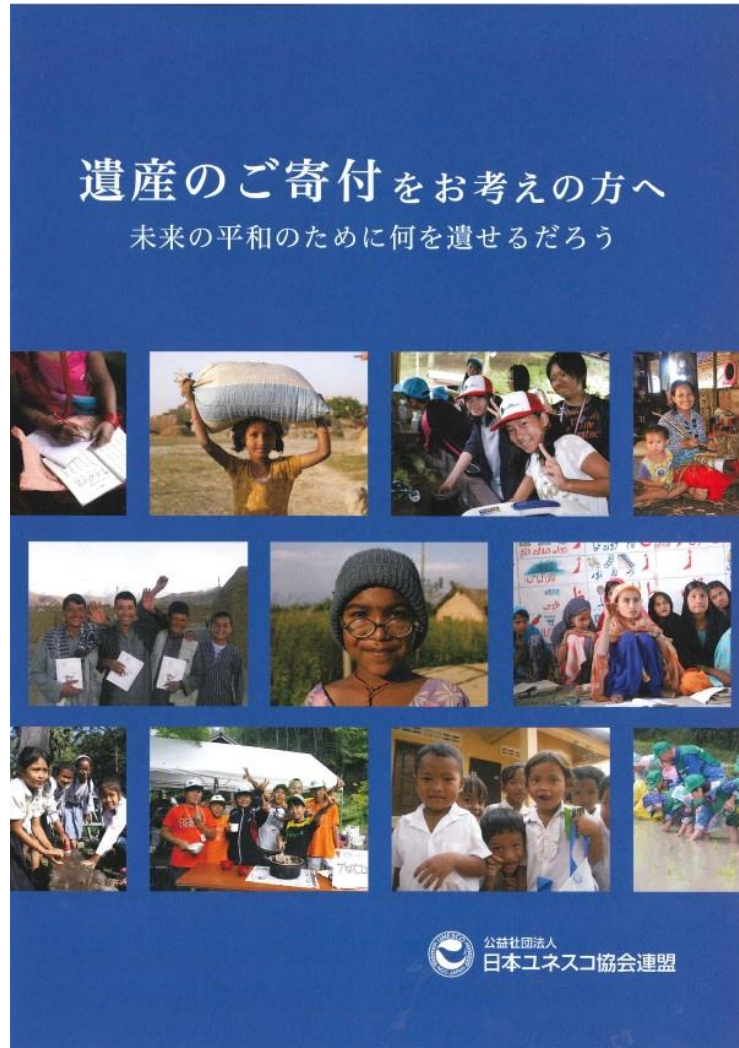
地球のたからを、

日本のこころを、

東日本大震災子ども支援募金活動報告
特設ページはこちら

ユネスコ世界寺子屋...
みんな楽しそうね

遺贈パンフレットの制作



**遺産の寄付(遺贈)
に関するパンフレット
を新たに制作。**

**「文藝春秋11月号」
の読者からの資料請
求時に送付**

公式フェイスブック

活動の様子や現地の情報、トピックスなどをいち早くお届けしています。ぜひ「いいね!」をクリックしていただき、多くの方々との情報共有をお願いします。 <http://www.facebook.com/unesco.or.jp>



Facebookページ お知らせ インサイト 投稿ツール 設定 ヘルプ

UNESCO
NGO JAPAN
公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

日本ユネスコ協会連盟
@unesco.or.jp

ホーム
ページ情報
写真

いいね! ... その他

お問い合わせ

・[登録数]
3,195人
(10月26日現在)

機関誌「ユネスコ」10月号の発行

2017年10月1日発行 0.4.7.10 961 発行所 東京1155号 2017年11月24日 発行所 東京1155号 1581 940-6442

United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

ユネスコ
日本ユネスコ協会連盟

ユネスコ

2017.10 vol. 1158

2017年は民間ユネスコ運動発祥70周年です



若い世代によるさまざまなアプローチがユネスコ活動の新たな可能性を拓きさせた。 写真提供：ユネスコ協会

CONTENTS

- 1 全国大会レポート
第73回日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台
- 4 海外の動き
WFLA 発行委員会
- 5 特集 発祥70年 次世代へ語り継ぐ
UNESCOの理念に心動かされて
日本ユネスコ協会連盟 村井 了
- 7 イベントレポート
*日・中 青年文化フェスティバル
*カンボジア高校生スクイズツアー
ユネスコ活動の応援
- 8 活動報告
*第49回ユネスコ子どもキャンプ
*平和の輪を地らそう
*東日本大震災子ども支援募金
*世界母子屋敷運動
*一杯のスプーン
*世界遺産活動
*未来遺産運動
- 11 お知らせ・募集

**新しい時代へとバトンをつないだ
第73回日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台**

民間ユネスコ運動70周年を記念して宮城県仙台市で開催された全国大会は、次の時代の活動に参考となる教訓を残した。第一は、若い世代に思い切って企画立案と実行を任せた点である。どんな形で、どんな青年活動が、全国に展開されているかを知るよい機会を提供したといえる。第二は、その若い世代のイニシアティブは、北半球やシニア世代との協力と相互信頼なしには発揮できないという点である。まさに履の「相互補完関係」の構築がカギなのである。

だが、少子高齢化という人口構造の変化もあり、我が国における民間ユネスコ運動の将来展望は決して明るいわけではない。世界的に見ても課題は山積している。とくに課題の課題は、グローバル化への成長から内向きのナショナリズムが強まっている点である。国境を越え、人種・宗教・文化の違いを超え、紛争・戦争の原因を根本から解決しようとするUNESCOの理念がいまほど必要とされているときはない。仙台から新たな一歩が始まる。

(日本ユネスコ協会連盟理事長 鈴木 信司)

ユネスコ情報マガジン(メール配信)

第233-234号 発行

=====↵
U^N^E^S^C^O^U^N^E^S^C^O^U^N^E^S^C^O^U^N^E^S^C^O^U^N^E^S^C^O^U^N^E^S^C^O^↵
=====↵

□■□ ユネスコ情報マガジン □■□↵

《2017年10月3日 通巻第234号》↵

=====↵

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟↵

National Federation of UNESCO Associations in Japan↵

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に
平和のとりでを築かなければならない — UNESCO 憲章前文より」↵

=====↵

「目次」↵

┌──────────┐↵

■TOPICS■↵

□ 識字の力「国際識字デーイベント 2017」で発信！↵

□ グローバルフェスタ JAPAN 2017 in お台場 盛況のうちに終了↵

↵

=====↵

■TOPICS■↵

┌──┐↵

識字の力「国際識字デーイベント 2017」で発信↵

└──┘↵

国際識字デーであった9月8日、日本ユネスコ協会連盟、ユネスコアジア文化
センター、シャンティ国際ボランティア会は上智大学にて特別イベントを開催し、
多くの皆さまにご参加いただきました。↵

イベントではカンボジアで成人してからクメール語の読み書きを学んだ、スヴォ
ン・ソバルさんからの発表がありました。ソバルさんは1990年に小学校を中退し
たあと、2007年に寺子屋の識字クラスに通い始めました。今では幼稚園の先生
をしていたり、図書館の運営に携わったりと大活躍。村の皆や家族が敬意を持
って接してくれるようになったと目を輝かせて語りました。↵

・月1回発行
(臨時号を除く)

・[読者数]
5,356件
(10月26日現在)

今後の主な主催事業日程

2017年

11月18-19日(土-日) 中国ブロック・ユネスコ活動研究会(山口県防府市)

11月18-19日(土-日) 四国ブロック・ユネスコ活動研究会(香川県高松市)

11月25-26日(土-日) 九州ブロック・ユネスコ活動研究会(沖縄県那覇市)

11月27日(月) - 1月31日(水)

ユネスコスクールESDアシストプロジェクト助成金第9期募集

12月4日(月) 未来遺産委員会プロジェクト未来遺産選定2017

12月9日(土) 「みどりの絵コンクール」授賞式

2018年

1月13日(土) 第520回理事会、第44回評議員会、新年懇親会

2月23日(金) 第4回アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム活動報告会

3月10日(土) 第521回理事会

3月24-31日(土-土) ESD国際交流プログラム(高校生インドネシアスタディツアー⁴⁷)

2~3月 寺子屋・世界遺産事業協力者向けカンボジアスタディツアー

その他

デロイトトーマツ コンサルティング 合同会社(DTC)によるCSR活動の 一貫として「プロボノ支援」決定

【DTCの社会課題への取組み】

持続可能な社会の構築という観点から、さまざまな社会課題の解決につながる新たな事業機会や価値の創造を目指す。

【DTCのCSR活動】

自らの専門性を無償で提供すること(プロボノ)を通じた社会貢献を実施。

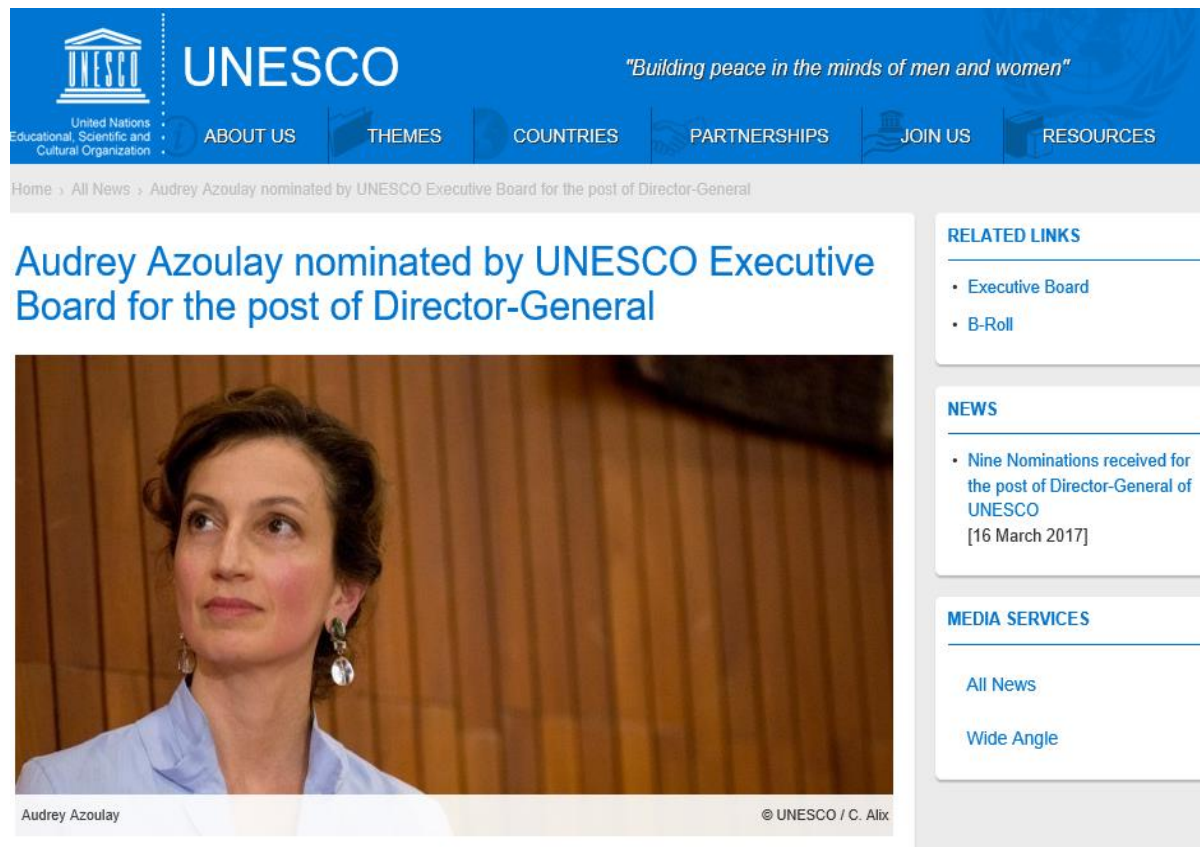
非営利団体(NPOやNGO)に対し、無償でコンサルタントとしての専門性を提供。

「事業運営の適正化」「財務基盤の強化」を含む組織基盤を強化することで、ビジョン・ミッションの実現に貢献する

として、無償で10月1日～2018年1月31日、コンサルティングを受け、理事会にご提案いただけることとなった。

UNESCO新事務局長に 仏・前文化相・オドレー・アズレ氏

- 2017年10月13日、UNESCOは、イリーナ・ボコバ事務局長(65)の後任を決める選挙の決選投票を実施。
- その結果、執行委員会の58カ国から過半数の30票を獲得した、フランスのオドレー・アズレ前文化相(45)が新事務局長に選出された。



The screenshot shows the UNESCO website header with the logo and tagline "Building peace in the minds of men and women". The navigation menu includes "ABOUT US", "THEMES", "COUNTRIES", "PARTNERSHIPS", "JOIN US", and "RESOURCES". The breadcrumb trail reads "Home > All News > Audrey Azoulay nominated by UNESCO Executive Board for the post of Director-General". The main article title is "Audrey Azoulay nominated by UNESCO Executive Board for the post of Director-General". A photograph of Audrey Azoulay is displayed. The right sidebar contains "RELATED LINKS" (Executive Board, B-Roll), "NEWS" (Nine Nominations received for the post of Director-General of UNESCO [16 March 2017]), and "MEDIA SERVICES" (All News, Wide Angle). The footer includes "Audrey Azoulay" and "© UNESCO / C. Alix".

世界の記憶

Memory of the World

名称	世界遺産	無形文化遺産	世界の記憶
条約名	世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約	無形文化遺産の保護に関する条約	———
発効／開始	1972年第17回UNESCO総会で採択・1975年発効	2003年第32回UNESCO総会で採択・2006年発効	1992年
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産 記念物、建造物群、遺跡など ・自然遺産 自然美、地質・地形、生態系など ・複合遺産 文化遺産と自然遺産両方の価値を兼ね備えているもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・口承による伝統及び表現 (無形文化遺産の伝達手段としての言語を含む) ・芸能 ・社会的慣習、儀式及び祭礼行事 ・自然及び万物に関する知識及び慣習 ・伝統工芸技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・直筆の文書 ・書籍 ・ポスター ・絵 ・地図 ・音楽 ・写真 ・映画等
申請者	締約国	締約国	政府機関(日本ユネスコ国内委員会)・自治体・団体・個人
登録決定機関	世界遺産委員会	無形文化遺産の保護のための政府間委員会	UNESCO事務局長
事務局	UNESCO世界遺産センター	UNESCO文化局無形文化遺産課	UNESCO情報・コミュニケーション局知識社会部